

まんすりー 全旅連情報

発行日：平成25年1月1日  
定 価：150円  
発行人：清澤正人  
印 刷：山陽印刷株式会社

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789 「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

年頭所感	1	第15回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	6
全国事務担当者研修会開催／第4回正副会長会議開催	2	第16回「人に優しい地域の宿づくり賞」応募受付中	
旅館・ホテルにおける接客業務の知識・技術の向上研修会	3	平成24年度秋の叙勲・褒章、生活衛生功労者表彰発表	7
観光庁と全旅連シルバースター部会の意見交換会開催	4	都道府県組合等の情報	
佐藤会長がITFの旅遊研討会で講演		全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	8
全旅連会長選挙管理委員会開催／全旅連総務委員会	5	全旅連協定商社会年頭のご挨拶	9
財務小委員会開催／青年部広報室		全旅連協定商社会名簿	12

## 年頭所感

2013年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は日本国内全体で東日本大震災からの復興と景気回復を目指して終始した1年となりました。そしてあの原発事故を契機とし、太陽光や風力、水力、地熱といった自然界に存在する再生可能エネルギーが一躍注目を集めた年でもありました。

このようななか、全旅連では、組合員の役に立つ組織を目指し、様々な課題に取り組んでまいりました。なかでも、永年の懸案である固定資産税の軽減については、業界の最優先課題として積極的な陳情活動等を行った結果、平成27年度の見直しが決定いたしました。しかしながら、まだ具体的な内容は示されていません。今後も、他のホテル旅館団体とも協調し、本年度・来年度での詰めの作業を行っていく必要があります。

また、NHK受信料問題についても、受信料の取りまとめ支払による組合の財務基盤強化には貢献できましたが、個々の旅館ホテルには相変わらず重い負担がのしかかっています。特に組合員の多くを占める中小零細旅館の負担を軽減するためにも、何となく、英国BBC放送と同程度の負担を勝ち取るべく、今後もNHKとの交渉を続けてまいります。



あの震災による風評被害からようやく立ち直りかけた矢先の尖閣諸島をはじめとする領土問題により中国や韓国からの観光客は激減、平和産業である観光産業にとっては、厳しい状況が続いています。本年3月末には金融円滑化法も終了します。昨年は東京スカイツリーの開業や東京駅舎復原などにより、首都圏には多くの観光客が押し寄せました。しかし円高の影響もあり国内旅行より海外へと出掛ける人が増えたのも事実です。今後は、国内旅行需要を喚起することが肝要であり、特色ある地域づくり、高齢者や障害者の方にも安心して旅行を楽しんでいただけるような環境づくりに取り組む必要があります。本年はこれらの施策にも力を注いでいきたいと考えています。このためには、シルバースター部会の充実、青年部組織をはじめとする若い力の結集による元気の宿作りや後継者の育成、そして迅速な情報発信等に努めてまいります。

最後に、本年が旅館ホテル業界の皆様にとって幸多き年となることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶と致します。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会  
会 長 佐藤 信幸

# 全国事務担当者研修会／第4回正副会長会議開催

平成24年度都道府県事務担当者研修会

全旅連は11月19日、東京・千代田区の花見川会館で「旅館・ホテルにおける接客業務の知識・技術の向上研修会」として平成24年度都道府県組合事務担当者研修会（生活衛生関係営業対策事業）を開催した。「接客業務の知識・技術の向上」のための講演のほか、厚生労働省の取組み、防火基準の順守、全旅連の全体にわたる取組みやシルバースター部会の活動報告、また、組合広報体制の充実、保険事業の案内などを研修内容とした。



## 佐藤会長が開講挨拶で全旅連の主な活動を報告

佐藤会長＝写真＝は全旅連の主な活動として ①東日本大震災での被災者の受入や東京電力による損害賠償、電気料金の値上げ問題等への取組み ②NHK問題（大手チェーンホテルの取組み）や地熱発電問題への対応 ③防火基準の順守への対応と徹底（防災管理や消防署への届出・通報、消防計画への対応） ④税制改正問題（「固定資産評価の見直し」と「消費税の外税化」の実現）などについて語り、「全旅連は常に、業界を取り巻く諸問題に対しては一つひとつ懸命に取り組んでいき、組合員の窮状に応える組織として努力していきたい」と述べた。



また、衆院の解散総選挙については、「観光で国を建て直すという認識をわれわれと共有し、地域の発展に取組む政治家を支援していきたい」とした上で、「全旅連としては、その時々政権与党を中心に業界のためになる政治活動を進めていくことになるが、その取組み姿勢

## 厚労省が「旅館業をめぐる環境と課題」で講演

厚生労働省の依田泰健康局生活衛生課長が「旅館業をめぐる環境と課題」と題して講演した。同氏は、旅館業の経営上の課題や旅館業の収益要素などに触れながら、「経営改善の一つに内部環境と外部環境を踏まえた上での『旅館業における強みの発揮』がある」とし、「基本的視点から見た強みとなる要素とは、人的サービス、個性、独自性、地域性、食、楽しさ、感動、休養、癒し、心身の健康などだが、自館の“強み”や“弱み”を踏まえ、持ち味を発揮した宿づくりが必要である。こうして他社製品にない独自性を自社の製品やサービスに盛り込むという差別化戦略をもって顧客満足を図っていくことになるが、これには地域における業種内、業種間の連携・協力が有効である」と述べた。



は、「支援するのはわれわれの業界を応援する『旅館党』であるとの考え方を根本としている」と述べ、協力を求めた。

## 第4回全旅連正副会長会議開催

全旅連は12月12日、第4回正副会長会議を開催、来る16日に衆議院総選挙を控え、今後の政局が注目される中、平成25年度全国旅館政治連盟活動方針（案）等が審議された。その他の議題としては、全旅連協定商社新規入会に関して株式会社シーナツの入会が審議され、承認された（平成25年1月1日入会）。

また、全国旅館会館建替えに関する件では、これまで2社のコンサルタントに検討を依頼してきた内容を踏まえ、2月の理事会に諮り、今後の全旅連として

の方針を決定することで承認された。

報告事項では、旅館ホテル維持補修アンケートの集

計状況及び今後の予定について工藤政策委員長より報告、横山青年部長からは来年2月20日、東京国際会議場で開催される「旅館甲子園」についての現状報告と協力依頼があった。※会議の詳細は次号にて。



# 旅館・ホテルにおける接客業務の知識・技術の向上研修会

## 「接客業務の知識・技術の向上」基本編

「接客業務の知識・技術の向上」については、「おもてなし検定委員会」の委員でもある飯野智子氏(写真、有限会社フェイスアップ代表取締役)が基本編として、おもてなしの概念を中心に次のように語った。



◇よく「いいサービスをしなさい」「ホスピタリティが大切だ」「おもてなしが大事」などといわれるが、実はこの3つはそれぞれに考え方が異なる。サービスは「1対多数」のものであり、「いつでも、どこでも、誰にでも提供するサービス」のことをいう。だから有料・無料がある。次にホスピタリティとは「1対1の関係性のマネジメント」である。「いま・このとき・この場所で、この人に」のスタンスで行われる唯一無二の行為である。つまり、やるべきことが違っている。おもてなしはサービスとホスピタリティを融合させたものだが、どちらかというとおもてなしはホスピタリティに軸を置いているものだ。

◇サービスを突き詰めるためにはマニュアルや自社の効率を優先させた自分たちの都合(主語性)が必要となるが、そうしたルールをつくる一方で、その中においても1対1の関係をつくり、お客さま(述語性)を優先させる行為がホスピタリティということになる。

このホスピタリティは、できるときにできることを精一杯やればよいものだ。例えば、チェックイン、チェックアウトなど短時間に大量の作業が行われなければならないときなどは、ホスピタリティは発揮すべきではない。あるときはサービス、あるときはホスピタリティといったようにその場、その場で適切に発揮していくべきだということ。

◇1対1の関係は最終的には信頼関係をつくることになる。「この仲居さんに接客してもらいたいから、この旅館に行く」といった場合にそうした関係がみられる。お客さまに関心を寄せ、配慮を示すというホスピタリティを実践することによって、お客は逆にその提供サイドに関心を抱き、結果ファンになってくれるだろう。特に人気のある旅館というのはそういう図式になっている。

◇旅館の4大商品といえば、「食事」「施設」「周辺環境」そして「おもてなし」であるが、旅館の目指す「和のおもてなし」は、お客さまに余分な負荷なくちゃんと商品満喫できる状態にしておくサービスと、お客さまと信頼関係を築くホスピタリティによって生まれるものである。これらは市場が縮小傾向にある現代にあっては、「生涯顧客を増やす」また、祖父母の代から頼りにしている旅

## 「接客業務の知識・技術の向上」聴覚障害者編

「接客業務の知識・技術の向上」での「聴覚障害者編」については、杉並区聴覚障害者協会会長の鈴木道夫氏(写真)が手話で講演し、手話通訳がそれを読み取る方法で行われた。概要は次のとおり。



◇聴覚障害者といっても、コミュニケーション方法は人によってまちまちであるため、いろいろなことを想定して相手の人考えた配慮が必要である。つまり、聴覚障害者は「みんな手話を話す」「補聴器をつけている人は普通に聞こえている」「大きな声で話しかければ通じる」「説明する時、聴覚障害者が『うん』とうなずく姿勢は説明を理解している」などは聴覚障害者に対する誤解である。

◇手話といっても関東と関西の手話は違う。また、途中で耳が悪くなった人には口話(読話)も有効だが、何といっても筆談が、より安心できるものだ。これはメモ用紙、ホワイトボード、書きボードなどによるものだが、ほかに連絡方法としてはFAX、携帯文字メール、パソコンのメール、そして、最近ではiPadなどが挙げられる。なお、フロントにはメモ書きを一時的に文書等に貼りつけるために使用する付箋(ふせん)も用意しておくと便利である。また、マグネットで軽く文字を書くことができワンタッチで全面消去が可能な簡易筆談器も便利である。

◇旅館・ホテルには注視を求める「呼びかけ(対個人、対集団)」や「パニック対応のサイン」「危険を知らせるサイン」など、誰にもすぐにできるコミュニケーションがあるのでぜひ覚えておきたいものである。もちろん「ようこそ、いらっしゃいませ」「おはようございます」「おやすみなさい」「だいじょうぶですか?」「また会いましょう」など最低限の手話を身につけてより良いコミュニケーションづくりをすることも大切である。

館・ホテルであるという「永代顧客をつくる」という面でも実に大切なことであり、言い換えれば旅館・ホテルが生き残れる最良策であろう。

◇「日本の宿おもてなし検定」(全旅連などが協賛し、観光庁、厚生労働省などが後援)は旅館の接客業務の知識・技術の向上を図り、お客さまの満足度の充足と旅館業界のさらなる発展を図ることを目的としている。インターネット接続できるパソコンであれば誰でも受験できるものであり、1人でも多くのお客さまが真正面から真剣に向き合うことを期待している。

# 観光庁との意見交換会開催／佐藤会長がITFで講演(台北)

## 観光庁と全旅連シルバースター部会の意見交換会開催

全旅連シルバースター部会(多田計介部会長)は11月8日、全旅連会議室で高齢者等の宿泊旅行の活性化について



観光庁と意見交換会=写真=を行った。旅館業界の危機的状況をいかに打開し新たな活路を見出していくかについては、時間や資金に余裕のあるシニア層を中心に伸び悩む旅行需要を押し上げるスキームを模索することが重要であるとし、意見を交わした。観光庁観光産業課からは、中西貴子課長補佐(総括)のほか、中島浩信専門官、惣田友和係長らが出席した。

冒頭、佐藤会長、大木会長代行は共に、シニア世代の、従来のスタイルの旅行にはあまり積極的でなかった層を国内旅行に誘い出すことによって宿泊旅行の需要を拡大していかななくてはならない状況にあるとし、地域特有の観光コンテンツを活かした新しい旅行・観光を提示する必要性を強調、「これには行政と業界による連携・協働推進体制の構築も必要である」と述べた。

国は観光立国推進基本計画の基本的な目標のひとつに「日本人の国内観光旅行による1人当たりの宿泊数を年間4泊にする」を掲げ、また、観光圏の整備により、地域の伝統や食などの観光の魅力を掘り起し、2泊3日以上以上の滞在を促進することを目的として「観光圏整備法」を制定するなど、国内旅行の活性化を重要な柱として観光立国の実現に向けた政策を推進しているが、今後の観光政策は、それぞれの主体が他の主体と積極的に連携していくという総合的な推進体制の確立も重要課題であるとした。

意見交換では、新たな旅行需要の創出を図る戦略について討議されたが、部会側は、国、関係省庁や関係機関に対する要望として「シニア層(とりわけ団塊の世代)の宿泊旅行を促進させるためのメッセージ発信の実施」「高齢者等が安心して旅行が出来るための各種資格制度の導入と体制整備の推進」「地域特有の観光コンテンツをいかした新しい旅行促進のための企画創造への取組み」などを挙げた。

これに対し観光庁側は、部会に対し「新たな商品造成・素材開発に取組んで観光庁に上げてもらいたい」と要望。また、高齢者の旅行動向とユニバーサルツーリズム

## 佐藤会長がITFの旅遊研討会で講演



写真左=講演する佐藤会長  
右=中央が徐銀樹氏

韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、インド、マレーシアにおける平成24～25年度の観光見本市の中でも特に注目され、これまでも日本の各地の行政等が参加して台湾観光客の誘致など様々なプロモーションが行われているITF=台北国際旅行博(台湾観光協会主催)が10月26～29日、台北市で開催されたが、佐藤会長がイベントの一つであるトラベルセミナー(旅遊研討会)で「日本旅館業界の経営管理およびマーケティング」について語り、東アジアを中心とした国際的な大交流時代到来での観光産業の健全な発展に資する講演を行った。佐藤会長は、この日、司会などを務めた徐銀樹氏(中華民国旅館商業組合全国連合会理事長)の招聘を受けて講演した。徐氏は、今年岡山県で行われた全国大会(総会を含め)に参加して日本と台湾の交流促進に努めており、今回は佐藤会長の台湾での講演の運びとなった。



佐藤会長の講演を聴講するみなさん

ムの促進についての考えを示し、市場を掘り起こすためには、健康効果のPR、旅行のバリエーションによる「高齢者の旅行参加の促進」、相談窓口の設置などによる「障害者の参加の促進」や「サポーター(介助者)の旅行参加」などのほか、専門家育成(研修制度など)や経営層の意識啓発による「旅行業界全体の底上げのための対応」や将来的なインバウンド市場の高齢化も見据えたマーケット規模の分析などによる「認知度向上のための対応」が必要であるとし、これらは今後取り組んでいくべき事項であると述べた。

同部会は、意見交換会は今後数回続けていきたいとしている。

## 全旅連会長選挙管理委員会開催

— 現職の佐藤会長が立候補届提出 —

全旅連会長選挙管理委員会では、11月22日から30日までの間、次期会長立候補届の受付を行ったところ、現職の佐藤信幸会長より立候補届の提出があった。

これを受け、同委員会では12月5日に第2回委員会を開催、提出資料を審議しこれを受理した。

なお、1名のみの方の立候補となったため、「全旅連会長選出に関する内規」第5条の2により、来る2月21日開催の第2回全旅連理事会席上にて信任投票が行われることとなる。

## 全旅連総務委員会財務小委員会開催

全旅連総務委員会(宮村耕資委員長)は、12月4日財務小委員会を開催、全旅連カード決済サービスC→REXの運営状況についての確認や全旅連協定商社の優遇事項(まんすりへの広告掲載、チラシ折込)の変更について協議を行ったほか、株式会社シーナッツ(予約・販売管理システム)の協定商社新規入会審査を行い、12月12日に開催される正副会長会議にて入会承認審査を行うこととした。また会議終了後には、協定商社との懇談会を開催した。

### 全旅連青年部広報室



## 第21回全旅連青年部全国大会in美ら島沖縄を終えて担当者より

開催地受入部会長(沖縄県部長) 金城 仁

『第21回全旅連青年部美ら島沖縄大会』を無事に終えることができました。全旅連青年部横山全国部長をはじめ、出向者の皆様、そして全国からお越しいただいた青年部員の皆様には多大なご協力をいただきましたこと心から御礼申し上げます。至らないことも多々あったと思いますが寛大な心でお許しください。井上直前全国部長と4年前から考えていたことが現実になり感無量です。全国大会までの誘致、開催を通していろんな経験をさせていただきました。また、それは私だけではなく沖縄の部員も同様です。この経験をこれからの旅館ホテル業界、観光業界の発展に繋げていきたいと思っております。



『苦労話』ということですが、色々ありました・・・会場、予算、日程、台風、運営・演出等々。でも今思えば楽しい思い出となっています。特に、まかされた大懇親会については、イメージしたようなことがほぼ100%できたと思っております。オープニングのマーチング、現・次期全国部長紹介、舞台装置、料理、焼酎泡盛タワー、褒賞発表、サプライズプロポーズ、そして、音楽アトラクション。関わっていただいた演出運営関係の皆様には感謝です。そのなかで、サプライズプロポーズに関しては、ほんとに『YES』の答えがもらえるのかわかりませんでした。打ち合わせするときにも、『舞台上に上げることができるのか?』『会場でのプロポーズにしてカメラで追っかけるか!』『NOと言われたときは、無理やり終わらせてしまおう!』等々そして・・・『YES!』の答えが聞こえた時には、心が震えました。

また、最後のダイヤモンドのライブ、女性ダンサーチームを用意しましたが、皆さんにどれだけ盛り上がりしてもらえるかが一番心配でした。私は、懇親会会場の後方の音楽・照明コントロールブースにいて、皆さんを見ていました。手を上げて踊ったり、みんなで手をつないだり、なかには女性ダンサーを囲んでいるところも(笑) その姿を見た時にはホッとしました。『やって良かった!』と心から思いました。

皆様のご協力に心から感謝しております。そして、多くの素晴らしい仲間と絆ができたこと一生の財産です。これからもどうぞよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。

### 取材を終えて

広報委員会 師岡 哲也

私は青年部に入会し、初めて第17回福岡大会に参加した時、同志の皆様の行動や言葉に感動を覚え、その後の全国大会には欠かさず参加してきました。回を増すごとに新しい発見があり大会の中身や人が進化しているのがすごくわかります。客観的な立場で参加していた全国大会ですが、改めて、誘致から大会の運営まで、表裏で頑張っている皆様が、我々に学びや気づきを与えて下さっているのだと感じました。本当にいい大会でした。私たちの為に頑張ってくれている方々がいたからこそだと思います。大会の運営に携わった皆様本当にありがとうございました。次回も楽しみに参加します!



## 第15回「人に優しい地域の宿づくり賞」 受賞者紹介

優秀賞

### ホテル龍登園

「廃食油のバイオ燃料化による  
リサイクル活用と環境への低負荷化」

佐賀市大和町のホテル龍登園(代表 宮原嘉奈子)は、独自に開発したバイオ燃料製造システムによって、A重油と天ぷら油などの廃食油との混合油を製造し、燃料として使用している。従来は、A重油のみでボイラーを焚いていたが、現在はA重油と廃食油1:1の比率で混合したボイラー燃料を使っている。

以前は、客室への給湯や暖房、温泉の加温で月平均2万<sup>リットル</sup>の重油を使用していたが、重油価格の高騰を受けて、使用量を減らすために廃食油と混ぜて燃料として使用する実験を平成21年12月に始めた。当初の解決すべき課題は、不純物(天ぷらかすなど)が多いため、取り除いてから重油と混合していたにもかかわらず、ボイラーに油を噴射するノズルの目詰まりが相次いだ事であった。他にも常時運転のため、混合油の精製レベルの不安や廃食油の安定した調達などが主な課題であった。しかし、試行錯誤を繰り返した結果、問題なく使える混合油の精製に成功し、平成22年11月に消防の認可を受け、正式に本格運転に移行することができた。また、排出される煙の成分を調べた結果、重油のみの場合と比較して、煤塵(ばいじん:すすや燃えかすの粒子)の量が10分の1から25分の1に減少し、CO<sub>2</sub>の排出も半減した。さらには硫黄酸化物の量も減ったことが確認され、環境負荷軽減にも大きく寄与することができた。

このバイオ燃料製造システムについては、現在実用新案を申請する予定だという。また約3万<sup>㎡</sup>の耕作放棄地を活用した農園で野菜を有機栽培して宿泊客に提供しているが、回収した油かすを活用した有機堆肥を製造するシステムの研究も進めている。



混合燃料製造装置の全景

## 第16回 応募受付中! 「人に優しい地域の宿づくり賞」

### 「人に優しい地域の宿づくり賞」とは

この賞は、地域の旅館ホテル(個人参加可)や旅館ホテル組合が参加又は主催する活動で、高齢者等をはじめ、全ての人々に優しい配慮がなされており、地元の団体やボランティアグループ等が、協力しておこなう下記のジャンルを対象とします。そして、その中から選考委員会が審査し、「厚生労働大臣賞」、「全旅連会長賞」をはじめ名誉となる賞を贈るものです。

### 実施要領

#### 対象ジャンル

1. 特性を生かした活動(温泉、料理、まちづくり、滞在型等)
2. 経済の活性化(情報技術(IT)、施設、地域貢献等)
3. 歴史・文化の振興(イベント・祭り、趣味等)
4. 環境づくりの推進(緑化、清掃、リサイクル、環境保全等)
5. スポーツの振興(体操、ゲートボール、健康増進等)
6. 福祉の充実(健康、設備、サービス・接遇、ボランティア等)
7. 国際化の推進(インバウンド、インフラ整備等)
8. 省エネ・節電の取り組み(冷・暖房の対策、蛍光灯やLED照明への交換等)
9. その他、人に優しい地域の宿づくり活動と認められるもの

#### 応募方法

平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)に開催された活動の主催団体は地元旅館組合を経由し、都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合に活動の概要及び内容の特徴が示されている写真を添えてお申し込み下さい(エントリー料は無料)。また、参考として新聞等の紹介記事やパンフレット類がありましたら添付して下さい(コピー等の資料はA4判に統一)。なお、電子メールでの応募も受け付けておりますので、「宿ネット」より応募用紙をダウンロードして写真や参考資料のデータと一緒に全旅連のメールアドレスまでお送り下さい。

※原則として、ご提出いただいた資料の返却はいたしません。

#### 応募締切

平成25年3月31日消印まで有効

#### 後援

厚生労働省

#### 選考のポイント

1. いきがい
2. おもいやり
3. よろこび
4. あたたかさ
5. やすらぎ

#### 表彰

平成25年6月12日に第91回全旅連全国大会において表彰

- URL(宿ネット) <http://www.yadonet.ne.jp/>
- 全旅連メールアドレス [ajra@alpha.ocn.ne.jp](mailto:ajra@alpha.ocn.ne.jp)

## 平成24年度生活衛生功労者表彰

厚生労働大臣表彰16名、中央会理事長表彰19名

厚生労働省と全国生活衛生同業組合中央会は、平成24年10月26日、東京・千代田区のホテルニューオータニで、平成24年度生活衛生功労者表彰式を行った。生活衛生関連16業種のうち、旅館ホテル関係の受賞者は、厚生労働大臣表彰16名、中央会理事長表彰19名が荣誉に浴した。

【敬称略】

### 厚生労働大臣表彰

花田忠利(北海道)	蝦名幸一(青森県)
佐藤勘三郎(宮城県)	大倉 隆(埼玉県)
鶴田邦朗(千葉県)	工藤勇治(東京都)
野澤幸司(新潟県)	安藤精孝(石川県)
加藤 貢(岐阜県)	住 吉人(岐阜県)
渡邊恭宏(静岡県)	中村 智(愛知県)
田中秀樹(兵庫県)	江口恭俊(福岡県)
工藤和廣(大分県)	町田 昭(鹿児島県)

### 生衛中央会理事長表彰

高田 進(北海道)	田尻健司(栃木県)
田村亮一(群馬県)	相川照男(埼玉県)
佐久間克文(東京都)	林 茂樹(東京都)
安岡重高(神奈川県)	富井松一(新潟県)
小林忠行(富山県)	加藤昌利(静岡県)
成瀬茂行(愛知県)	水谷勝彦(愛知県)
渥美公太郎(愛知県)	小早川優(兵庫県)
箸尾享嗣(奈良県)	尾崎正明(香川県)
藤本正孝(高知県)	宮村耕資(高知県)
高柳貴裕(宮崎県)	

## 栄えある秋の叙勲・褒章 発表

11月2日、3日に平成24年秋の叙勲・褒章受章者が発表された。全旅連関係の受章者は次の通り(順不同、敬称略)

【叙勲】

◇旭日双光賞(生活衛生功労)

伊藤正司=現三重県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長、元全旅連副会長、鹿の湯ホテル(三重県菰野町湯の山温泉)

【褒賞】

◇藍綬褒章(生活衛生功労)

村木啓介=現長崎県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長、前全 旅連副会長、矢太樓(長崎県長崎市)

◇黄綬褒章(業務精励)

三浦公子=ホテル三浦華園女将(北海道滝川市)  
榎本幸子=淡路インターナショナルホテル ザ・サンプラザ大女将(兵庫県洲本市)



平成24年度生活衛生功労者表彰式出席者



## 都道府県組合等の情報

地熱を利用した「温泉発電(バイナリー発電)」に注目が集まっている。大規模な地熱発電に対しては温泉の枯渇につながるとして地元の反発が強いが、温泉発電はあくまで温泉熱の余剰分を発電に利用するもので、今、日本の各地で新たな取組みがみられる。

■温泉発電で復興へ(福島県)=土湯温泉では、源泉の熱を利用した温泉発電で得た電気を全量買い取り制度で東北電力に売却し、東日本大震災で疲弊した温泉街の復興事業に充てることになった。同事業を担うのは新会社の「元気アップつちゆ」。資本金は、9割を源泉の利用権を持つ湯遊つちゆ温泉協同組合が出資し、残りの1割を特定非営利活動法人の土湯温泉観光まちづくり協議会が負担している。

■温泉街で「湯けむり発電」(大分県)=有数の温泉地を抱える大分県の民間グループが小型発電装置の開発に乗り出した。温泉発電によるもので、発電機は沸点が低い特殊な媒体を温泉熱で温めて気化させ、その圧力でタービンを回す仕組み。12月にも稼働を始める計画だ。また、由布市湯布院町の旅館も既に発電機を発注し、同月頃の稼働を目指している。

■未利用の温泉水で発電(長崎県)=長崎県の島原半島にある小浜温泉(雲仙市)は100度を超える高温の温泉が

### 秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合研修会



講師の佐藤氏(左)と宿主としての地熱開発への対応を考える組合員たち(右)

秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合(松村讓裕理事長)は11月6日、秋田市内のホテルで、講師に日本秘湯を守る会会長の佐藤好億(よしやす)氏を招き、「地熱発電の現状と課題」を題目に講演会を開いた。

出るのが特徴だが、地元の温泉事業者が主体になって利用しないまま海に流している温泉水を生かした発電事業に取り組んでいる。小浜温泉が導入したシステムは1台あたり年間に25万kwh程度の発電が可能で、約1000万円の売電収入が見込めるといふ。環境省の実証実験の1つで、温泉の影響や事業化への可能性など2013年度まで検証する。

## 全旅連会議開催

【11月】

6日(火)

- 全国旅館会館自衛消防訓練  
於:麴町消防署(東京都千代田区)

8日(木)

- 観光庁と全旅連シルバー部会との意見交換会
- 全旅連事業委員会環境推進小委員会

19日(月)

- 都道府県組合事務担当者研修会  
於:海運ビル(東京都千代田区)

20日(火)

- 全旅連青年部常任理事会 他  
於:蘇山荘(熊本県阿蘇市内牧温泉)

【12月】

4日(火)

- 全旅連総務委員会財務小委員会
  - 全旅連総務委員会と協定商社会との懇談会
- 5日(水)

- 全旅連総務委員会広報小委員会
- 第2回全旅連会長選挙管理委員会

6日(木)

- 旅政連公営宿泊施設等対策本部

11日(火)

- 全旅連青年部常任理事会 他  
於:琴参閣(香川県琴平町湯元ことひら温泉)

12日(水)

- 全旅連正副会長会議

13日(木)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会

19日(水)・20日(木)

- 全旅連事業委員会環境推進小委員会  
(地熱発電検討委員会 現地視察)  
於:柳津西山地熱発電所(福島県河沼郡柳津町)

### ご協力御礼 維持補修アンケート

業界の永年の懸案である固定資産の見直しに向け、10月～11月にかけて、組合員の皆様に「ホテル・旅館の維持補修に関するアンケート」をお願いしたところ、全国から900件以上もの回答をいただきました。大変面倒な内容であったにも関わらず、多くのご回答をいただきましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

お送りいただいた調査票は集計作業中ですが、専門家による勉強会を開催の後、観光庁を通じて総務省との交渉に臨むことになっております。

皆様、ご協力どうもありがとうございました。

## 経営ワンポイントアドバイス

### 「まんすりー」経営改善講座 渡邊 清一郎

あけましておめでとうございます。

日本にとって大変大切な2013年が始まります。国土をしっかり守ること、歴史に誇りを持つことができる教育がおこなわれることを切に願っています。良き国を作るためにはお金が必要です。人もコンクリートも電気もなくてはならない物です。GDPを安定して成長させる戦略、デフレからの脱却、行き過ぎた円高の是正、インフレ誘導などが確実にスピード感をもってなされてほしいと思います。

さて、本年3月31日をもって中小企業金融円滑化法の期限がやってきます。4月以降、中小企業にとってさらに厳しい環境が出現します。そして、中小企業金融の担い手である信金・信組・地方銀行などの金融再編も行われることでしょう。今までの経営常識が通用しなくなることも予想されます。債務や収益のことで少しでも悩みを抱える経営者は速やかに第三者に相談しましょう。優秀な経営者、再生財務法務に強い弁護士・会計士・税理士など。また、全旅連事務局に電話相談することも一歩前に進むことになると思います。

一人でも多くの経営者が勇気をもって前に踏み出し、暗闇の中に光明を見出すことを願っています。

質問・相談は  
watanabe@yadonet.ne.jp  
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

### まんすりー全旅連情報について

まんすりー全旅連情報は、年10回(4月号、5月号、6月号、7月・8月合併号、9月号、10月号、11月号、12月・1月合併号、2月号、3月号)発行を行い、多くの組合員の皆様に全旅連が現在取り組んでいる活動や事業、全旅連が関わる業界活動、各地域の取組み、旅館・ホテルに関係する省庁からの通達などのほか、全旅連の協賛企業である協定商社の紹介といった情報をお届けします。ご受読ください。



## 謹賀新年

歌と「カラオケ」の  
素晴らしさを伝え、  
社会に楽しさや明るさを  
届けてまいります。

第一興商は、  
全旅連組合員様を  
応援いたします。



**DAM**  
GOLD EDITION

### 第一興商

〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26  
TEL:03-3280-6821 FAX:03-3280-0962

## 大阪ガス株式会社

**取扱商品**  
ガスの製造、供給、販売  
ガス機器の販売

旧年中は格別の御高配を賜り  
厚く御礼申し上げます。  
皆様のご健勝と益々のご発展を  
心よりお祈り申し上げます。

〒541-0046  
大阪府大阪市中央区平野町4-1-2

## 安値世界への挑戦 ゴジマ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます  
本年も  
よろしくお願いたします



**施設の更なる魅力向上  
節電・省エネ対策も  
ゴジマにおまかせください!!**



## 東京海上日動

昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。  
本年も皆様に安心と安全をお届けできるよう取り組んでまいり所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。  
皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

**取扱商品**  
旅館・ホテル向け団体保険制度  
「全旅連保険」

※詳細につきましては代理店:全旅連事業サービス(0120-087-484)までお問い合わせ下さい。

### 東京海上日動火災保険株式会社

〒100-0004  
東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12F

## アースサポート株式会社

**取扱商品**  
廃棄物処理、リサイクル、廃棄物管理代行業務

年中は格別の御高配を賜り  
厚く御礼申し上げます。  
皆様のご健勝と益々のご発展を心より  
お祈り申し上げます。



Earth Support Corporation.

〒690-0025  
島根県松江市八幡町882番地2

全旅連組合員様へ  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

**インカムシステム**



**宿泊施設向けBGM**



キャンシステムは、本年も全旅連組合員の皆様の宿泊施設運営を支援してまいります。何卒、宜しくお願申し上げます。

防犯カメラ

館内コメント放送

デジタルサイン

LED照明

**50th ANNIVERSARY** **キャンシステム株式会社**  
http://www.cansystem.co.jp/  
〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1 キャンシステム荻窪ビル  
TEL: 03-5397-9446(企画部商品課)

## 謹賀新年

あなたの情報パートナー



代表取締役  
**湯浅 亨**

**取扱商品**  
旅館・ホテル様向け専用業務ソフト『ホテルマネージャーシリーズ』

- ◆ 予約・宿泊管理システム
- ◆ インターネット予約システム
- ◆ レストラン管理システム
- ◆ 婚礼・宴会管理システム
- ◆ 売掛金管理システム
- ◆ 仕入・買掛金管理システム
- ◆ 料理原価管理システム
- ◆ テーブルレイアウト作成ツール

## 三菱電機ビルテクノサービス株式会社

**取扱商品**  
エレベータ設備・管理

謹んで新年のご挨拶を  
申し上げます。

旧年中は格別のご高配を賜り  
厚く御礼申し上げます。

〒116-0002  
東京都荒川区荒川7-19-1

## 株式会社 ウィンターハルター・ジャパン

**取扱商品** 業務用食器洗浄機

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
今年、「Best Mix The Energy」を合言葉に  
皆様の省エネ化のお手伝いできればと思っております。

熱回収型  
ドアタイプ食器洗浄機  
GS502Energy+ SC



**涼**  
涼しい厨房

世界初! ガス式熱回収型洗浄機を新発売!

株式会社エクシング

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
本年も宜しくお願いいたします。



JOYSOUND F1

株式会社エスコ

謹賀新年

ホテル・旅館の  
電気保安点検と  
節電のことなら  
エスコにお任せ下さい。

念頭に際し皆様の益々のご発展をお祈りいたします。  
本年も尚一層のお引き立てとご愛顧の程お願い申し上げます。



TEL 0120-60-9444

〒160-0074 東京都新宿区北新宿2丁目21-1  
新宿フロントタワー 12階  
TEL: 03-5332-3166 FAX: 03-5332-3512  
担当: 小野寺



謹賀新年

旧年中のご厚情に心より深く御礼申し上げます。

『快適な空間の提供』へ、少しでもご協力できるよう努めさせていただきます。

本年も宜しくお願い申し上げます。



プロのエアコン洗浄  
株式会社まごのてライフサービス  
TEL 0120-645-665

AIU保険会社

謹賀新年

取扱商品  
全旅連様向け 集団扱火災保険



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
本年がすばらしい一年でありますように  
皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

〒140-0002 楽天トラベル株式会社  
代表取締役社長 岡武公士  
東京都品川区東品川四丁目13番9号  
楽天タワー12号館

楽天10th Anniversary  
トラベル

宿泊予約経営研究所

取扱商品

予約サイト運用業務代行サービス

旧年中は格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



〒220-8120  
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1  
横浜ランドマークタワー20階  
TEL: 045-227-6505 FAX: 045-227-6507

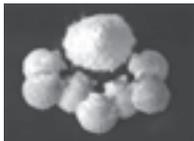
有限会社プラス・ワン

取扱商品

カルサイン・森の妖精たち

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
旧年中は大変お世話になりました。

弊社取扱い商品カルサインは天然成分100%。ホタテの貝殻を特殊な焼成技術で除菌・抗菌作用を効果的にした製品です。カルサインは塩素では除去できないバイオフィルムを分解し、レジオネラ菌属・大腸菌群を除去し、温泉水の酸化還元電位を低下させる作用、塩素臭を消す作用もあります。



本年もよろしく願い申し上げます。

ラナビイク株式会社

謹んで年頭のご祝詞を申し上げ  
皆様のご清福をお祈り致します。  
2013年 元旦

LED照明トータルプランニングのご案内

- ◆照明プランの作成
  - ・LED照明導入による省エネ試算
  - ・最適な製品の選定
  - ・照度設計(照度シミュレーション、照度演出)
- ◆当社工事ネットワークによる安心施工
  - ・日本全国対応
- ◆アフターサービス
  - ・延長保証サービス
  - ・24時間365日対応のコールセンターにて専門スタッフが対応

〒103-0028  
東京都中央区八重洲1-5-15-6F  
03-5425-4620



ルノン株式会社

取扱商品

「空気を洗う壁紙」  
壁紙、襖紙他、インテリア商材

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
全旅連組合員様にとって良き1年になることを心から祈念しております。

半永久サイクル消臭壁紙「空気を洗う壁紙」も発売して7年が経ち、当社の看板商品として育って参りました。

中でも「空気を洗う壁紙クラフトライン」シリーズは、ホスピタリティを追求し、計算されたデザインと配色で癒し空間を提案したシリーズです。是非、全旅連の皆様にもお薦めします。綺麗な空気もおもてなしのひとつです。

これからもより安心、安全、快適な室内環境を壁紙でご提案してゆきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

# 全旅連協定商社会名簿

システム・シャイン・サービス(株)	ジュエタン及び椅子のメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
(株)トランスネット	ROOMBANK事業他客室情報システム	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館7F マーケティング部法人営業課 荒井俊之	TEL 03-3475-8865 FAX 03-3475-8824
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-19 広域法人開発部 課長補佐 内藤一彦	TEL 03-5202-6605 FAX 03-5202-6669
丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿製品寝具製造・販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜 2-1-40 西部支社 法人営業1部部長 田中芳郎	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 青木貴洋	TEL 03-6835-1926 FAX 03-6834-8629
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)販売、音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルター 事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-1-2 エネルギー開発部 営業開発チーム 課長 藤原寛太	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒320-0038 栃木県宇都宮市星が丘2-1-8 営業本部 法人営業担当 安西直人	TEL 028-621-0008 FAX 028-627-9310
(株)エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUND, UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 市場開拓ホテル推進グループ グループ長 峰山直治	TEL 03-6848-5008 FAX 03-6848-9925
(株)エスコ	水道・光熱費等エネルギーコスト削減コンサルティング	〒169-0074 東京都新宿区新宿2-21-2 新宿フロントタワー12F 本社営業本部二課 係長 小野寺雄士	TEL 03-5332-3388 FAX 03-5332-3511
(株)まごのてライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 粟野和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12F 旅行業営業部 営業第一課 飯塚悠介	TEL 03-5299-3521 FAX 03-5299-3551
アースサポート(株)	廃棄物一元管理、食品リサイクル提案他	〒690-0025 島根県松江市八幡町882-2 総務・企画部 部長 西村圭介	TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892
AIU保険会社	集団扱い企業財産保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 大同生命ビル7F 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1 事業担当本部 企画部 次長 堀池元洋	TEL 03-5397-3333 FAX 03-5397-9446
楽天トラベル(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 国内営業部 吉崎弘記	TEL 050-5817-3366 FAX 03-5670-5237
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒105-0004 東京都港区新橋5-7-10 新橋SNビル3F 東京営業所 所長 岡崎真佐樹	TEL 03-3578-8670 FAX 03-3578-8516
三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務部 参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
(株)ウィンターハルター・ジャパン	食器洗浄機販売、メンテナンス等	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-6-12 新大阪駅前末広ビル1F 営業部 西日本チーム 末永 充	TEL 06-6886-5537 FAX 06-6886-6658
(有)プラスワン	除菌、消臭用品、レジオネラ菌除去等	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8丁目14-28 代表取締役専務 田島浩太郎	TEL 086-245-3021 FAX 086-245-3071
ラナビイク(株)	照明設備等メンテナンス	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-15-6F 常務取締役 管理本部長 美高津敬二	TEL 03-5425-4620 FAX 03-5425-4621
ルノン(株)	「空気を洗う壁紙」壁紙 襪紙他インテリア素材の卸販売	〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F 企画本部 部長 丸山 誠一	TEL 03-3492-7341 FAX 03-3493-5843

(平成24年12月)

## 安心・真心・優しさで 選ばれる宿になりませんか

シルバー aster 登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2~3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバー aster 登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約1,000軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバー aster 登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバー aster にご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。  
◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

**全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会**  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号 全国旅館会館4階  
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: <http://www.yadonet.ne.jp/>  
全旅連シルバー aster 部会公式サイト(人に優しい宿サイト)URL: <http://yadonet2.jp/>

## 大口・多頻度割引制度のご案内

### 使って得する便利な ETC コーポレートカード

大口・多頻度割引制度とは、大口・多頻度利用のお客を対象とした ETC システムの利用を前提とする高速国道等の通行料金の割引制度です。

なお、旅館業を行う事業者は、東日本高速道路株式会社と契約している全国旅館ホテル事業協同組合の組合員となることで、ETC コーポレートカードが貸与され大口・多頻度割引制度をご利用いただくことができます。

### 全国旅館ホテル事業協同組合

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-5 全国旅館会館 4 階  
**TEL.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789**

※全国旅館ホテル事業協同組合の概要及び組合加入申込書(PDFファイル)は「宿ネット(<http://www.yadonet.ne.jp/>)」からもプリントアウトできます。